

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		情報システム管理・運営事業費〔情報化推進事業〕									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 10	電算管理費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	情報管理 課 情報システム 係					課長名	菊地 浩				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	5 - 2				
【施策名】 ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現						総合計画書 (ページ)	108				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	第四次東大和市情報化推進計画(平成31~33年度)で計画されている各情報施策。				情報化推進計画の取組項目 平成31~33年度：第三次東大和市情報化推進計画(項目数17) →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	計画された個別事項について、着実に実現し、市民サービスの向上と事務効率化を図る。				情報化推進計画の取組項目のうち、「達成」または「一部達成」となった取組項目の数 →						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	情報施策に関する情報収集、業務担当課への情報提供、個別計画の実現に向けたシステム構築に係る技術的支援及び各課への取り組み状況調査。既存システムの安定した運用。				適宜 ※令和2年度中に取り組んだ事業は、以下のとおりである。 (1) 財務会計システムの最適化の検討 (2) 施設予約・抽選システムの研究・検討 (3) Wi-Fi環境整備の検討 (4) 学校教育のICT化の研究・検討 (5) 校務用パソコン入替え及びネットワーク化の最適化の検討 →						
	過去2年間の実績				当該年度		成果目標				
	平成30年度実績				平成31年度実績		令和2年度実績		令和3年度目標		
3 経費	対象指標	①の数値	項目	16	17	17					
	成果指標	②の数値	項目	16 (うち「達成」13)	17 (うち「達成」2)	17 (うち「達成」9)					
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方								
	活動指標	③の数値		適宜	適宜	適宜					
3 経費	事業費(実績)		円	321,872,611	345,621,056	480,632,556	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	321,872,611	345,621,056	480,632,556					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	4.0	4.0	4.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	32,976,000	33,240,000	33,520,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	354,848,611	378,861,056	514,152,556						
4 環境変化等	(1) 開始年度		16 年度								
	(2) 環境の変化 情報化施策への取組により、行政事務に係るコストの低廉化、迅速化及び市民の利便性が向上している。しかし、市民ニーズが多様化、求められる事業範囲の拡大等、さらなる行政事務の情報化が強く求められている。										

事業名称	情報システム管理・運営事業費〔情報化推進事業〕			
担当部署・課長名	情報管理課	課	情報システム係	課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	・ 庁内システムのクラウド化による機器運用の負担軽減を検討する。 ・ 業者と議論や要望ができるようなICT人材の育成。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	・ 新規システムの費用対効果の検討 ・ 一部システムのクラウド化を実施した			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
・ 庁内システムのクラウド化による機器運用の負担軽減を検討する。 ・ 専門的な知識が必要な業務の委託化を検討する。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	・ 情報システムの導入・運用にアウトソーシング（外部委託）を積極的に検討する。 ・ 他自治体との共同利用を検討し、負担軽減を図る（自治体クラウドの導入）。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
・ 事務の標準化の推進 ・ 他自治体との情報共有				